

### アジサイ

(アジサイ科)

ハナショウブとヤマアジサイの花が終わり、すっかり静かになりつつある日本庭園です。が、うらら池側正面には満開のアナベル、日本庭園入口にはガクアジサイや園芸アジサイ、カエデ園入口を過ぎた池畔にはカシワバアジサイの仲間が人の背丈を越えんがばかりに大きくなり、まだまだ花盛りです。

### サミダレハギ (マメ科)

ハギの仲間は秋咲きのものが多いですが、このサミダレハギはケハギの5月から6月に咲くタイプのものです。

### ノリウツギ (アジサイ科)

北海道、本州、四国、九州に分布し、山地の林縁などによく自生しています。枝の先に白い小さな両性花が円錐状につき、縁に装飾花がついています。樹液を紙を漉く際の糊に使用したことからこの名があります。

### ムラサキナツフジ (サッコウフジ)

(マメ科)

日本固有種で、本州の関東地方以西に分布しています。蔓は左巻きで細く、夏の花を付けることからドウフジ(土用藤)ともいいます。

### セイヨウニンジンボク (クマツヅラ科)

(クマツヅラ科)

南ヨーロッパ、西アジア原産の落葉性低木で、夏～秋にかけて枝の先端に紫がかった小花を穂状に咲かせます。葉が手を広げたような形で、朝鮮人参に似ていたことからこの名になっています。

### ホルトノキ

(ホルトノキ科)

常緑高木ではあるが、古い葉は落ちる前に紅葉し、常に葉の一部が紅葉しているさまが見られます。初夏に白い釣鐘状の花が集まった穂状の花をつけます。

### 夏のカラフルリーフ展

斑入り植物や様々な色の葉を持つカラーリーフ植物を、和風/洋風/利用場所に応じて紹介。葉の美しい食虫植物も次展示に先駆け紹介しております。

【展示温室にて

7月18日まで】

### 夏咲きの洋ラン

(ラン科)

洋ランと言えば年末年始の寒い時期に種類が豊富ですが、端境期に咲く夏咲きのデンドロビウム フォルミディブルが花盛りです。

### 大温室休館中

再オープンが平成29年秋頃を予定しています。

### スズランノキ

(ツツジ科)

北米東部の原産で、スズランのようなランプ状の花をつけます。

### アサガオのカーテン (ヒルガオ科)

2005年～展示資料館にグリーンカーテンを育成中。5月2日に誘引を始め、最上部まであと一息でたどり着きます。

ノアサガオの1品種‘オーシャンブルー’で、結実はめったにせず地上に伸びた茎を使った茎伏せで増やせます。

